

動 向 調 査

平成28年 10月～12月期

●調査依頼5,880社 ●有効回答企業1,132社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しております。ここでは東京都内信用保証利用企業の平成28年10月～12月期の調査結果についてお知らせいたします。

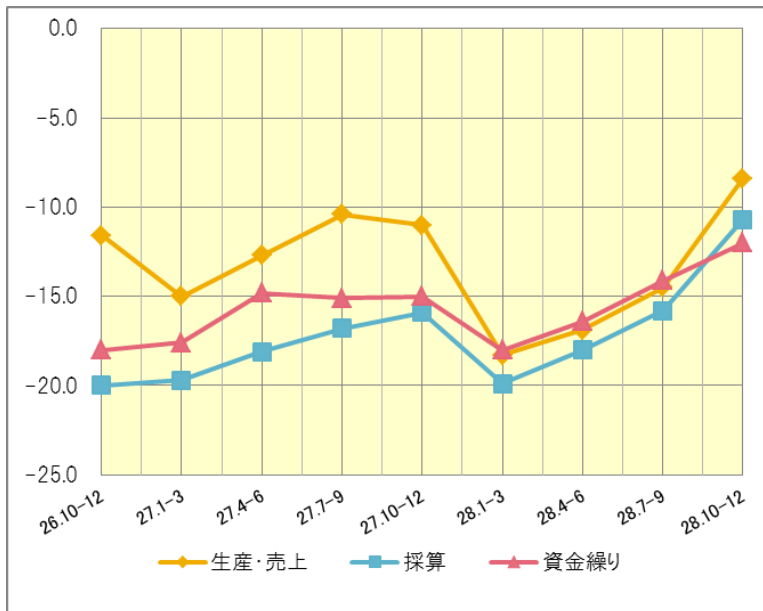
景気動向指数DIとは

景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

概況

一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



◎総合

今期(平成28年10月～12月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比+6.1ポイントの▲8.4、「採算」は前期比+5.1ポイントの▲10.7、「資金繰り」も+2.1ポイントの▲12.0といずれも3期連続でやや改善した。

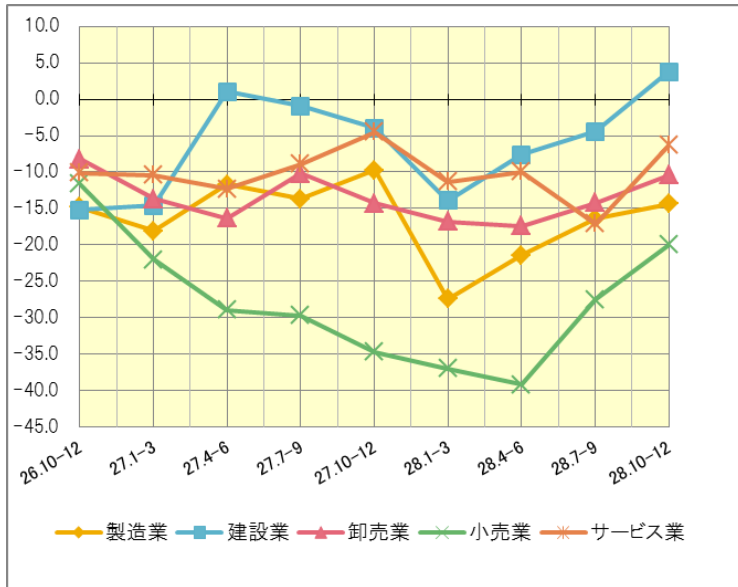
今後3か月の予測値(来期予測)は、「生産・売上」で8.1、「採算」は1.3とプラスに転じる予測であるが、「資金繰り」は▲6.1のマイナス値の予測となっている。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	3.4	-1.8	-8.2
今期実績	-8.4	-10.7	-12.0
来期予測	8.1	1.3	-6.1

●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI は(総合値)は前期比 +6.1 ポイントの▲8.4と改善した。

業種別では、建設業が 3.8(前期比+8.2 ポイント)と 6 期振りにプラス値に転じたほか、サービス業も▲6.3(前期比+10.8 ポイント)と大幅に改善した。他の業種についても幅はあるものの回復の動きがみられ、今期は全業種で改善となった。

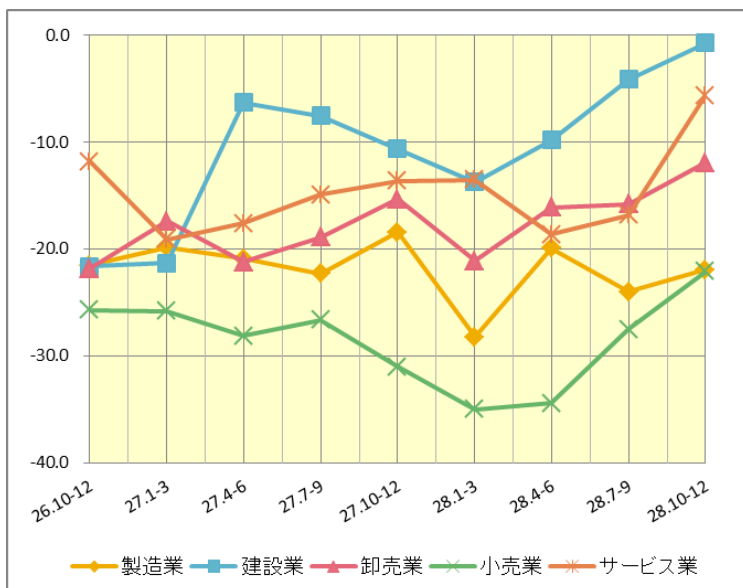
来期は、いずれの業種も今期実績値に比して改善の見通しで、小売業を除く全業種でプラス値に転じる予測となっている。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-1.9	11.3	5.4	-9.4	1.7	3.4
今期実績	-14.4	3.8	-10.4	-20.0	-6.3	-8.4
来期予測	6.6	14.9	9.0	-8.2	10.5	8.1

●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は▲10.7(前期比+5.1 ポイント)とやや改善した。

業種別では、全業種で前期実績値を上回り、特にサービス業は▲5.6(前期比+11.2 ポイント)と大幅な改善となった。建設業と小売業は 3 期連続で改善し、特に建設業は▲0.7(前期比+3.4 ポイント)でプラス値への転換も目前となった。

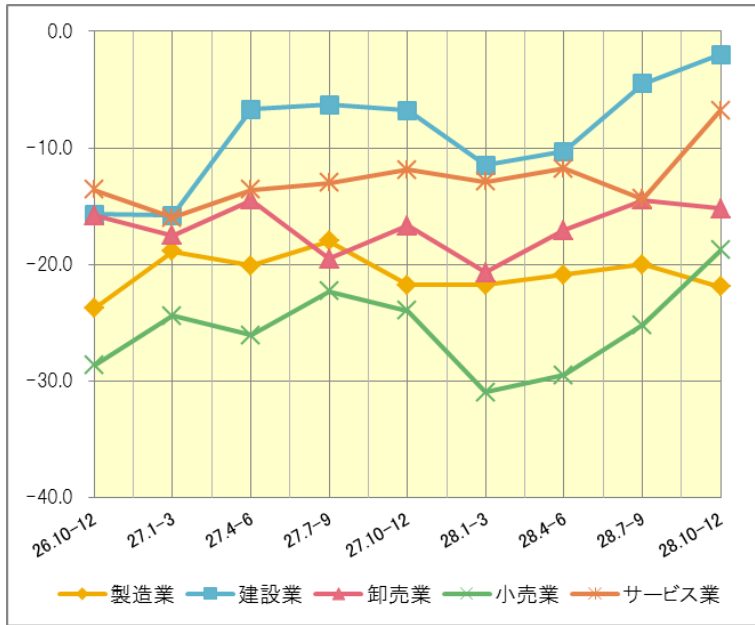
来期は、建設業、卸売業、サービス業でプラス値予測となっている。製造業と小売業については、マイナス値の予測であるが、今期に比して改善の見通しとなっている。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-12.4	2.2	2.2	-12.0	-0.4	-1.8
今期実績	-21.9	-0.7	-11.9	-22.1	-5.6	-10.7
来期予測	-1.4	5.9	1.2	-11.5	5.8	1.3

●資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は▲12.0(前期比+2.1ポイント)と、前期からやや改善した。

業種別では、建設業、小売業が3期連続での改善となったほか、サービス業も▲6.8(前期比+7.6ポイント)と改善した。一方で、製造業と卸売業についてはやや悪化となった。

来期については、多くの業種でマイナス値の予測ではあるが、建設業は「生産・売上」、「採算」の未来予測と同様に、プラス値に転じる予測となっている。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-13.5	-0.3	-7.8	-20.7	-7.9	-8.2
今期実績	-21.9	-2.0	-15.2	-18.8	-6.8	-12.0
来期予測	-15.7	2.1	-6.0	-13.9	-3.1	-6.1